

2019年3月7日

各位

株式会社北洋銀行

**株式会社イークラフトマン様との「全銀 EDI 利用による連携に係る契約」と
中小企業庁「平成 29 年度中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」での実証検証実施について**

北洋銀行は、株式会社イークラフトマン様（本社：札幌市 代表：新山 将督）と道内初の「全銀 EDI (ZEDI) ※¹ 利用による連携に係る契約」（以下、本契約）を 2019 年 1 月 18 日に締結しました。当社は北海道第 1 号の電子決済代行業者※² として国の認可を受けた事業者で、当行が本契約を締結したのは道内初めての事例となります。

当社は「平成 29 年度中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」のモデル事業に採択（全国で採択されたのは 4 社）され、本年 1 月から「北海道の地域企業間における電子決済の実証検証」を行っています。この事業は決済業務 IT 化による生産性向上を目的として受発注業務に係わる商流と金融における決済を融合する実証検証です。従来の EDI を用いた商流の仕組みと金融 EDI (ZEDI) を融合させ、中小企業の商取引における受発注から決済（売掛金消込含む）までの一連の業務全体をデータ連携させる実証検証を行い、効果測定を行うものです。

当行は中小企業の生産性向上支援の観点より、電子決済代行業者である当社と本契約を締結し、本事業に参画しています。この事業の実証結果報告は本年 3 月 8 日（金）14:00～16:30 に札幌市産業振興センターで行います（別紙参照）。

当行は本事業の効果を確認しつつ、ZEDI 利用普及に向け取り組んでいきます。

なお、当社に対しては、その高い EDI 技術力、道内第 1 号の電子決済代行業者として当行の有力パートナーであることから、「北洋 SDGs 推進ファンド※³」での投資も決定しています。

※¹ EDI (Electronic Data Interchange) は企業間の受発注等の取引データを通信回線でやり取りする電子商取引システム。ZEDI (全銀 EDI システム) は 2018 年 12 月 25 日稼働開始。企業の商取引での受発注から売掛金消込、資金決済までの一連の業務を電子データのやり取りで完結させるシステム。企業の生産性向上に大きく寄与するシステム。

※² 電子決済代行業者は国内で電子決済代行業（決済指図伝達サービス、口座情報取得サービス）を営むために国の認可を受けた事業者です。

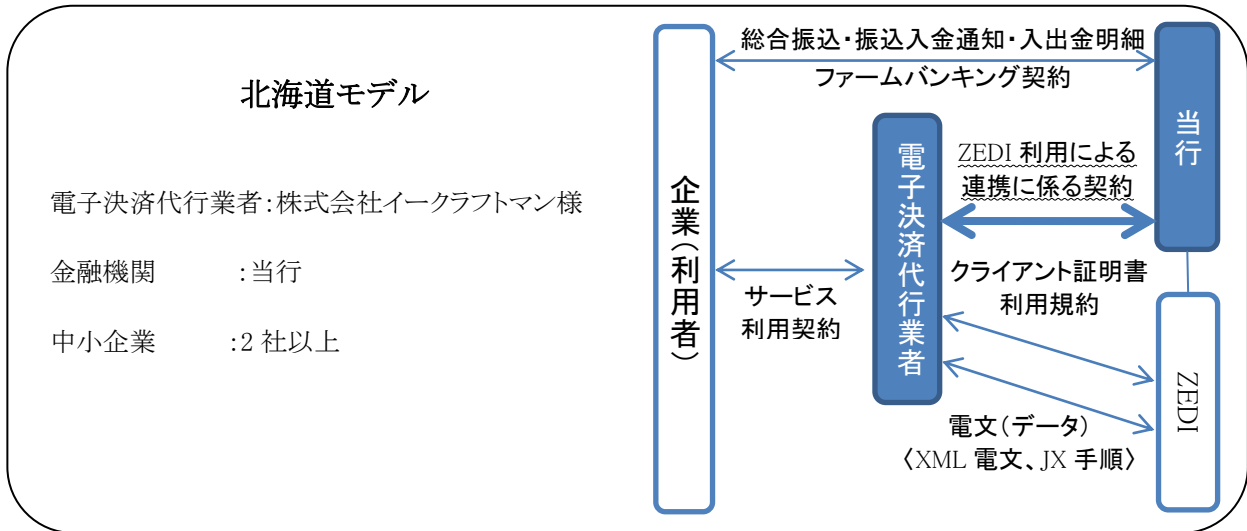
※³ 「北洋 SDGs 推進ファンド」は、SDGs (= 持続可能な開発目標) のコンセプトに合致する道内中小企業を投資対象とし、資金の提供を通じて地域企業が抱える課題を解決し、地域経済の活性化と北海道の持続可能な発展に貢献することを目的として 2018 年 6 月に組成したファンドです。

1. 会社概要

株式会社イークラフトマン様

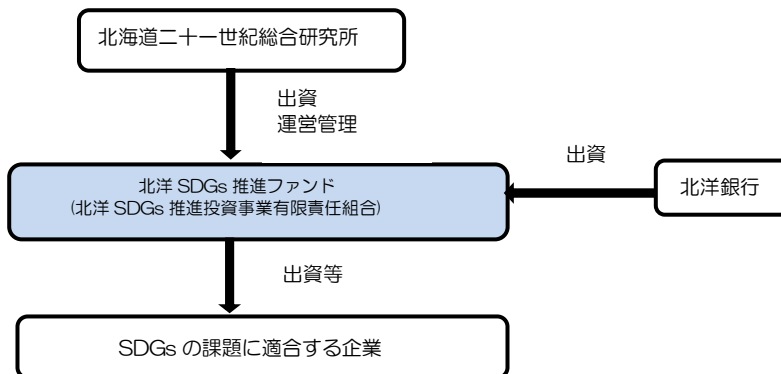
- 本社所在地 札幌市中央区北3条西18丁目2番地10
- 代表者 代表取締役 新山 将督
- 設立年月日 2007年5月21日
- 事業内容 EDIシステムの開発・販売
- URL <https://www.ecraftman.com/>

2. 中小企業「平成29年度中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」概要



3. ファンド概要

名称	北洋 SDGs 推進ファンド (北洋 SDGs 推進投資事業有限責任組合)
ファンド総額	5億円
組合員構成	株式会社北洋銀行 株式会社北海道二十一世紀総合研究所
設立日	2018年6月20日(水)
存続期間	設立日より10年間
業務運営者	株式会社北海道二十一世紀総合研究所



以上


札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアム
ICT活用普及促進部会
 平成30年度 第3回 定例部会

「EDIで加速する経営のイノベーション(PART2)」

<参加申込 <https://www.eleceen.jp/ictgroup/>>

「ICT活用普及促進部会」は、札幌市IoT推進コンソーシアムが地域におけるIoT関連技術の普及及び活用促進を目的とし、年3回開催する部会のほか、様々な産業分野と連携しながら、他産業分野との連携・融合に関する更なる活動の活発化を目標に、市内の中小ソフトウェア事業者だけでなく、ITから見るとユーザー系企業となる分野からも部会への参加を求めながら、これまで以上に「融合の場」を形成していきたいと考えております。

昨年12月の第2回定例部会に引き続き今回も「EDI」をテーマに開催いたします。中小企業への共通EDIの普及推進を目的に、北海道にて取り組まれた、中小企業金融EDI実証検証事業について、結果報告をご紹介するとともに、道内金融機関が取り組んでいる決済サービスをご紹介し、ITによるデータ連携がもたらすイノベーションについて共に検討していく場にしたいと考えております。ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1 日程：平成31年3月8日(金) 14:00～16:30 (受付開始13:30)
 - 2 場所：札幌市産業振興センター セミナールームA
札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1
 - 3 共催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、
札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム  Sapporo city Lab
 - 4 後援(予定)：札幌市、特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、北海道ITコーディネータ協議会
 - 5 参加者：企業の経営層、企業に所属する情報システム管理者、IT企業の経営者、ITコーディネータなど
※ITコーディネータ資格者は、資格更新条件に関する運用ガイドラインに準じ、最大2時間分のポイントを取得できます。
 - 6 定員：80名(参加費無料・事前申込)
 - 7 プログラム(スケジュール及び講演内容が急遽変更になる場合がございます。予めご了承ください)
- 14:00 主催者挨拶
- 14:05 講演①「**商流EDI&金融EDIによる生産性向上の検証と展開**
～中小企業庁委託事業：中小企業金融EDI実証検証事業について～(60分)
株式会社イークラフトマン 代表取締役 新山 将督 様
- <休憩 10分>
- 15:15 講演②「**北洋銀行が取り組む電子決済サービス**」(30分)
北洋銀行 フィナンシャルサポート部 コンタクトセンター 主任調査役 西本 和幸 様
フィナンシャルマーケティング部 Fintech 戦略グループ 調査役 清水 友磨 様
- 15:45 講演③「**2019年度の部会活動について**」(30分)
札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム ICT活用普及促進部会 世話人 赤羽 幸雄 氏
- 16:15～16:30 事務局から案内・閉会(予定)

裏面に続く

8 申込み方法

参加ご希望の方は、定例部会参加申込専用ページ（下記 URL）にアクセスしていただくか、本ページ下部の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

※ITコーディネータ資格者は、ITC 認定番号を記入してください。

参加申込専用ページ：<https://www.eleccen.jp/ictgroup/>

お申込をされた時点で参加確定です。当日、会場までお越し下さい。

受付期間終了前に定員に達した際には、その時点で申込受付を中止致しますのでご了承願います。

9 お問合せ先

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 情報産業振興部 事務局 佐々木、峨家（かけ）、山下
E-mail : it-pro@sec.or.jp TEL 011-814-5021 FAX 011-814-5041

札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアムICT活用普及促進部会
【平成30年度 第3回 定例部会 参加申込書】

FAX送信先：011-814-5041

企業名ふりがな			
企業名			
所在地	〒		
ふりがな			所属／役職
参加者氏名①			ITC認定番号(注):
連絡先電話番号	() -	連絡先FAX番号	() -
連絡先メールアドレス	@		
ふりがな			所属／役職
参加者氏名②			ITC認定番号(注):
ふりがな			所属／役職
参加者氏名③			ITC認定番号(注):

(注) ITC認定番号は、ITコーディネータの資格を有する方だけお書きください。該当されない方でも参加は可能です（当該欄は無記入で結構です）

本セミナー参加申込時にお送りいただきます個人情報は、札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム ICT活用普及促進部会 定例部会のご案内及び、当財団主催のセミナーに関連する情報をお知らせするために利用いたします。